

—市民の視点にたち、市民の声を市政に反映させ、市民に開かれた市政を実現するために—
第9回市民満足度アンケート調査へのご協力をお願い
＜調査票B＞

市民の皆様には、平素より、市政運営に多大なご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本市では、市政運営の総合的かつ基本的な取組み方針を定めた「成田市新総合計画」の中に掲げた52の施策（分野別の基本的な取組み方針）を対象に、「施策の実施による成果」と「施策の実現に向けて予定している計画」について、市民の皆様がどのように感じているのかその【満足度、考え方】をお伺いし、その結果を必要な改善に結び付けることを目的に市民満足度アンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成27年5月

成田市長 小泉一成

＜ご記入に際しての注意事項など＞

1. ご記入に際してのお願い

- 本調査にお答えいただくのは、**満20歳以上の市民の中から無作為に選ばれた2,000人の方**です。また、お答えいただく方々の負担を考慮し、調査票をAとBの2種類に分け、それぞれを1,000人の方に送付させていただいています。
- 本調査は**無記名**で行い、回答結果は統計的に処理しますので、ご協力いただいた皆様にご迷惑をかけることは一切ありません。どうぞ思ったままをお答えください。

2. ご記入上の注意事項

- 宛名のご本人**がお答えください。ただし、事情により、ご本人の記入が難しい場合には、**ご家族の方が代わりにお答えになっていただいても構いません**。
- お答えは、別添の「質問・回答シート」に直接ご記入ください。また、すべての質問にもれなくお答えください。

3. 調査票の返送期限

- ご記入いただいた「質問・回答シート」は、同封した返信用封筒に入れ、**5月17日(日)**までに郵便ポストに投函してください。

【本調査に関する問い合わせ先】

成田市企画政策部企画政策課

電話：20-1500 FAX：24-1006

E-mail：kikaku@city.narita.chiba.jp



📄 調査票の質問と回答について

別紙の調査票の質問は、「Ⅰ. あなたご自身のこと（P 1）」と「Ⅱ. 施策の実績に対する満足度等（P 2～）」に関する内容に大きく分かれています。このうち、あなたにおたずねする施策は、下表に示す 26 の施策です。

＜おたずねする施策の一覧＞

分野及び 施策コード	施 策（カッコ内は整理番号）	該当 ページ
1. 都市基盤・都市環境		P 2
1-1-2	1) 成田に集まる交通ネットワークを確立する	〃
1-2-1	2) 市民のニーズに対応した適切な都市計画を推進する	〃
1-2-3	3) 市内各地区を連携する幹線道路を整える	P 3
1-2-5	4) 市民が誇れる美しい都市環境を整える	〃
2. 産業振興		P 4
2-1-2	5) 楽しく回遊し滞在できる観光地づくりを推進する	〃
2-2-1	6) 優良農地の保全と農業基盤の整備を図る	〃
2-2-3	7) 担い手の育成と魅力ある農業づくりを推進する	P 5
2-3-1	8) 事業者の取組み支援と環境整備により商工業を活性化させる	〃
2-3-3	9) 市民が快適に働くことのできる労働環境を整える	P 6
3. 保健福祉		〃
3-1-2	10) 一人ひとりのニーズに対応した介護体制を整える	〃
3-2-1	11) 子育て環境をつくる	P 7
3-3-1	12) 多様なニーズに応える地域福祉体制の充実を図る	〃
3-3-3	13) 低所得者福祉を推進する	P 8
3-4-2	14) 医療サービスや救急医療体制を充実させる	P 9
4. 教育文化		〃
4-1-2	15) 成田の歴史文化を通して成田の個性や伝統を学ぶ	〃
4-2-2	16) 成田の未来をつくる義務教育を推進する	P 10
4-3-1	17) 市民が学び成果を活かすまちづくりを推進する	〃
5. 生活環境		P 11
5-1-1	18) 災害などに強いまちをつくる	〃
5-1-3	19) 交通安全、消費生活における安全対策を推進する	〃
5-2-2	20) 空港周辺地域の振興を図る	P 12
5-3-2	21) 安心して効率的な供給処理体制を整える	〃
5-3-4	22) 資源循環型社会構築に向けて取組む	P 13
6. 施策の推進に向けた総合的な取組み		〃
6-1-1	23) 人権が尊重され男女がともに参画する社会をつくる	〃
6-1-3	24) 市民との協働の仕組みをつくる	P 14
6-2-2	25) 効率的・効果的な行政運営に努める	〃
6-2-4	26) 広域的行政の効率的推進に努める	P 15

㊦ 「Ⅱ. 施策の実績に対する満足度・計画に対する考え方」の具体的な質問の構成(例)

○上部には「施策の名称」と当該施策の実現に向けて『成田市総合5か年計画2011』（以下実施計画）に計上してある「実施事業」を記載しています。

○左側の「平成26年度の活動内容・実績（25年度実績）欄には、当該施策を推進するために実施した平成26年度の主な活動内容・実績と、その比較のために前年度（平成25年度）実績を括弧書きで記載しています。また、右側の「平成27年度以降の主な計画」欄には、施策の実現に向けて実施計画に計上してある平成27年度^{注)}以降の内容を記載しています。

○費用については、別添「施策費用一覧（実績と計画）」もご覧ください。

○これらをもとに、「施策の実績に対する満足度」と「施策の実現に向けて予定している計画に対する考え方」を判定していただく欄  があります。日頃お感じになっている印象を含め、選択肢の中からあなたご自身のお考えに最も近いものをそれぞれ一つ選び、あてはまるものに直接○をつけてください。

注) 今回のアンケート調査は平成28年度以降の実施計画の策定に活用することを目的としています。

<質問の構成(例)>

<p>1-1-2 成田に集まる交通ネットワークを確立する（都市基盤・都市環境に関する施策）</p> <p>成田国際空港へのアクセスの強化や本市の利便性の向上を目指して、鉄道、道路等の計画的な交通基盤整備を推進します。</p> <p style="text-align: center;">施策の名称</p>	
<p>平成26年度の活動内容・実績（25年度実績）</p> <p>◆鉄道利便性向上</p> <p>・関係自治体と協力してJR東日本に対する要望活動の実施。駅舎のバリアフリー化や成田エクスプレスの増発等のダイヤ改正を要望した。(〃) など</p> <p>¥ 26年度決算見込み 8,409万円</p>	<p>平成27年度以降の主な計画</p> <p>❖鉄道計画推進に関する経費</p> <p>・関係自治体と協力してのJR成田線の利便性向上。など</p> <p>¥ 60万円</p>
<p>◆平成26年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。</p> <p>(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい(満足) 4 やや不足 5 不足)</p> <p>❖平成27年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。</p> <p>(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい(適正) 4 やや不足 5 不足)</p>	

日頃の印象を含め、
該当の番号に○をつ
けてください

📌 「施策の実績に対する満足度」の解説

あなたの満足度(選択肢)	選択肢の内容
1. 過大	受益者（市民や事業所など）にとっては過大なサービスであり、成果、費用の面でやりすぎだと思う。
2. やや過大	受益者にとってはやや過大なサービスであり、成果、費用の面で少しやりすぎだと思う。
3. ちょうどよい（満足）	受益者に対して適度なサービスが提供されており、成果、費用の面でちょうどよい（満足）と思う。
4. やや不足	受益者に対するサービスがやや不足しており、成果、費用の面で少し足りないと思う。
5. 不足	受益者に対するサービスが明らかに不足しており、成果、費用の面でかなり足りないと思う。

📌 「施策の実現に向けて予定している計画に対する考え方」の解説

あなたの考え方(選択肢)	選択肢の内容
1. 過大	受益者にとっては内容、事業費の面で過大であり、計画は縮小すべきだと思う。
2. やや過大	受益者にとっては内容、事業費の面でやや過大であり、計画は少し縮小すべきだと思う。
3. ちょうどよい（適正）	受益者に対して適度なサービスの提供であり、内容、事業費の面で計画はちょうどよい（適正）と思う。
4. やや不足	受益者に対するサービスが少し不足しており、内容、事業費の面で計画はやや拡大すべきだと思う。
5. 不足	受益者に対するサービスが明らかに不足しており、内容、事業費の面で計画は拡大すべきだと思う。

それでは、「質問・回答シート」へ記入をお願いします。 📌

II. 「施策の実績に対する満足度・計画に対する考え方」について、おたずねします。

1-1-2 成田に集まる交通ネットワークを確立する（都市基盤・都市環境に関する施策）

成田国際空港へのアクセス機能の強化や本市の利便性の向上を目指して、鉄道、道路等の計画的な交通基盤整備を推進します。

平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）

- ◆鉄道利便性向上
 - ・関係自治体と協力して J R 東日本に対する要望活動の実施。駅舎のバリアフリー化や成田エクスプレスの増発等のダイヤ改正を要望（〃）

など

¥ 26 年度決算見込み 8,409 万円

平成 27 年度以降の主な計画

- ❖鉄道計画推進に関する経費
 - ・関係自治体と協力しての J R 成田線の利便性向上を目指した要望活動等の実施

など

¥ 27 年度当初予算 1 億 9,560 万円

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
- (1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい (満足) 4 やや不足 5 不足)
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
- (1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい (適正) 4 やや不足 5 不足)

1-2-1 市民のニーズに対応した適切な都市計画を推進する（都市基盤・都市環境に関する施策）

ニーズに対応した適切な土地利用を推進するため、都市計画の見直しと適切な運用を進めます。

平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）

- ◆建築基準法に基づく建築確認の実施
 - ・建築確認の審査件数 522 件 (598 件)
- ◆開発行為及び宅地造成工事の許可
 - ・開発行為の審査件数 42 件 (50 件)
- ◆地形図及び地籍図の修正
 - ・地形図の修正 25 図郭（〃）
- ◆都市計画策定事業の取り組み
 - ・教育文化施設（成田国際文化会館）の変更（京成成田駅東口地区及び公津東地区について地区計画の変更、生産緑地地区の変更）

など

¥ 26 年度決算見込み 2,425 万円

平成 27 年度以降の主な計画

- ❖都市計画策定事業
 - ・都市計画マスタープランの見直し
- ❖都市計画図等整備事業
 - ・地形図や地籍図、都市計画図を最新の航空測量や公図等をもとに整備

など

¥ 27 年度当初予算 2,630 万円

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
- (1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい (満足) 4 やや不足 5 不足)
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
- (1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい (適正) 4 やや不足 5 不足)

1-2-3 市内各地区を連携する幹線道路を整える（都市基盤・都市環境に関する施策）

市内各地区を連携する幹線道路や都市計画道路などを整備するとともに、市民の交通利便性を向上させるため、コミュニティバスを運行します。

平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）

- ◆ 幹線道路の現道拡幅及び新設道路を計画的に整備
 - ・整備済みの幹線道路延長 205.1 km 整備率 95.2%
(204.1km 整備率 94.7%)
 - ◆ 都市計画道路の整備
 - ・赤坂台方線整備事業 落石防護柵詳細設計、道路築造工事、用地購入等（実施設計、道路築造工事、用地購入）
 - ・大袋線整備事業 道路築造工事等（〃）
 - ・ニュータウン中央線整備事業 JR線移設詳細設計、道路築造工事、用地購入等（JR線移設詳細設計、地盤改良工事、用地購入等）
 - ◆ コミュニティバス^注の運行
 - ・コミュニティバス年間利用者数 208,283 人（2 月末）
(209,324 人) など
- ¥ 26 年度決算見込み 11 億 290 万円

平成 27 年度以降の主な計画

- ❖ ニュータウン中央線整備事業
 - ・玉造地先から成田安食線バイパスまでを結ぶ都市計画道路約 900m 区間の整備
- ❖ コミュニティバス^注運行事業
 - ・交通不便地域と市街地の公共交通を結ぶコミュニティバスの運行 など

¥ 27 年度当初予算 22 億 6,898 万円

注「コミュニティバス」とは、住民の利便向上等のため一定地域内を運行するバスで、車両仕様、運賃、ダイヤ、バス停位置などを工夫したバスサービス。

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。

(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい(満足) 4 やや不足 5 不足)
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。

(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい(適正) 4 やや不足 5 不足)

1-2-5 市民が誇れる美しい都市環境を整える（都市基盤・都市環境に関する施策）

市民が誇れる美しい都市環境を整えるため、景観計画を策定し、良好な景観を保全、創出します。また、市民の憩いの場となる都市公園の整備などを進めます。

平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）

- ◆ 中心市街地における架空線^注の地中化
 - ・これまでに架空線の地中化が完了した道路延長 1,690m（〃）
 - ◆ 景観計画^注推進事業
 - ・景観形成重点地区の検討 1 地区、景観審議会の開催 2 回、なりた景観資産の登録 13 件
(成田市景観計画、成田市景観条例の策定) など
- ¥ 26 年度決算見込み 1 億 3,065 万円

平成 27 年度以降の主な計画

- ❖ 景観計画^注推進事業
 - ・景観形成重点地区の検討、景観審議会の運営等
- ❖ 住区基幹公園整備事業
 - ・大栄地区のグリーンウォーターパークの拡張整備 など

¥ 27 年度当初予算 1 億 7,559 万円

注「架空線」とは、コンクリート柱・鉄塔などによって空中に張り渡した電線、架線。

注「景観計画」とは、良好な景観を形成するための基本となる計画のことで、いわば景観の誘導等を行ううえでの「ものさし」となる。

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。

(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい(満足) 4 やや不足 5 不足)
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。

(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい(適正) 4 やや不足 5 不足)

2-1-2 楽しく回遊し滞在できる観光地づくりを推進する（産業振興に関わる施策）

楽しく回遊し滞在できる観光地づくりを推進するため、J R成田駅構内の観光案内所で市内の観光情報の提供を行い、観光客の市内回遊を促します。

平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）

- ◆国内外の観光客に対する各種観光情報の提供
 - ・観光案内所の情報提供件数 99,575 件 (84,962 件)
- ◆初詣に訪れる観光客の安全な誘導
 - ・成田山新勝寺の初詣客数(三が日)308 万人 (305 万人)

など

¥ 26 年度決算見込み 5,229 万円

平成 27 年度以降の主な計画

- ❖観光案内所運営事業
 - ・J R 成田駅構内の観光案内所のリニューアル
- ❖迎春対策事業
 - ・正月の参拝客の利便性を図るための警備員の配置や規制、案内看板の設置

など

¥ 27 年度当初予算 7,483 万円

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい(満足) 4 やや不足 5 不足)
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい(適正) 4 やや不足 5 不足)



2-2-1 優良農地の保全と農業基盤の整備を図る（産業振興に関わる施策）

優良農地の保全と農業基盤の整備を図るため、農道・排水路などの整備を推進するとともに、土地改良事業を促進します。

平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）

- ◆農道の舗装整備
 - ・舗装済の農道延長 429 km 舗装率 66% (418km 舗装率 64%)
- ◆農用排水路の整備
 - ・整備済の農用排水路延長 433km 整備率 81% (430km 整備率 81%)
- ◆土地改良事業の促進
 - ・土地改良事業が実施済みの農地面積 3,619ha 実施率 45% (〃)

など

¥ 26 年度決算見込み 3 億 5,790 万円

平成 27 年度以降の主な計画

- ❖農道整備事業
 - ・農業生産、流通の効率化のための農道の舗装整備
- ❖排水路整備事業
 - ・乾田化の促進や農作業効率を上げるための農業用排水路の整備

など

¥ 27 年度当初予算 5 億 7,679 万円

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい(満足) 4 やや不足 5 不足)
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい(適正) 4 やや不足 5 不足)



2-2-3 担い手の育成と魅力ある農業づくりを推進する（産業振興に関わる施策）

担い手の育成と魅力ある農業づくりを推進するため、農業青年の育成や活動支援に努めます。また、農業に対する理解を深めるため、市民農園の貸付などを実施します。

平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）

- ◆認定農業者^注の育成・確保
 - ・認定農業者の数 307 人（317 人）
- ◆認定農業者への農地の利用集積を促進
 - ・認定農業者に貸し付けられている農地面積 930.4ha（734.2ha）
- ◆市民農園の市民への貸し付け
 - ・市民農園の貸し付け面積 121 区画 3,750 m²（123 区画 3,810 m²）
- ◆農村環境の保全
 - ・園芸用廃プラスチック処理量 282.6t（273.7t）
など

¥ 26 年度決算見込み 9,483 万円

平成 27 年度以降の主な計画

- ❖新規就農者支援事業
 - ・青年就農者の確保・育成に向けた給付金の給付
- ❖農地集積・集約化対策事業
 - ・農地の集積、集約化に協力する農地の出し手に対する協力金の交付 など

¥ 27 年度当初予算 1 億 3,325 万円

注)「認定農業者」とは、自らが作成した農業経営改善計画について、市町村から認定を受けた農業経営者や農業生産法人。認定農業者になると資金の融資や農地の斡旋などの支援を受けることができる。

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい(満足) 4 やや不足 5 不足)
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい(適正) 4 やや不足 5 不足)

2-3-1 事業者の取組み支援と環境整備により商工業を活性化させる（産業振興に関わる施策）

事業者の取組み支援と環境整備により商工業を活性化させるため、中小企業の資金調達の円滑化を図るとともに、商店街の共同施設の設置を支援します。

平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）

- ◆中小企業に対する資金の融資及び利子補給
 - ・中小企業資金融資利子補給額 1,095 件 8,815 万円（937 件 7,647 万円）
- ◆商店街が実施する装飾街路灯などの共同施設の設置・維持管理に対する補助
 - ・共同施設を設置している商店街 15 商店街（〃）
- ◆公設地方卸売市場の運営
 - ・卸売市場の年間取扱高
青果部 14 億 8,634 万円 水産部 56 億 4,734 万円
(青果部 12 億 8,620 万円 水産部 60 億 7,914 万円)

¥ 26 年度決算見込み 14 億 4,710 万円

平成 27 年度以降の主な計画

- ❖中小企業資金融資事業
 - ・中小企業の資金調達の円滑化と融資を受けた中小企業者に対する利子補給の実施
- ❖公設地方卸売市場再整備の検討 など

¥ 27 年度当初予算 14 億 5,036 万円

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい(満足) 4 やや不足 5 不足)
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい(適正) 4 やや不足 5 不足)

2-3-3 市民が快適に働くことのできる労働環境を整える（産業振興に関わる施策）

市民が快適に働くことのできる労働環境を整えるため、事業者を支援し雇用の安定を図るほか、就業技術援助を行い、就職・再就職を支援します。

平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）

- ◆ 求職者対象講習会の開催
 - ・ 就業技術援助講習会に参加した求職者 42 人（47 人）
- ◆ インターネットによる求人情報の提供
 - ・ 成田市就労支援サイト「なりた・お仕事ナビ」アクセス数 63,283 件（56,750 件）
- ◆ 中小企業退職金共済掛金に対する補助
 - ・ 中小企業退職金共済掛金の補助対象 183 事業所 1,291 人（175 事業所 1,382 人）
- ◆ 高齢者や障がい者等を雇用する事業所に奨励金を交付
 - ・ 雇用促進奨励金の交付対象 28 事業所 69 人（35 事業所 66 人）

¥ 26 年度決算見込み 4,257 万円

平成 27 年度以降の主な計画

- ❖ 就業技術援助事業
 - ・ 求職者の資格取得を目指した講習会の開催
- ❖ 雇用促進事業
 - ・ インターネットを通じて人と企業との適切なマッチングを図る

¥ 27 年度当初予算 4,103 万円

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
（ 1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい（満足） 4 やや不足 5 不足 ）
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
（ 1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい（適正） 4 やや不足 5 不足 ）

3-1-2 一人ひとりのニーズに対応した介護体制を整える（保健福祉に関わる施策）

高齢者の交通手段の確保に努めるとともに、一人ひとりのニーズに対応した介護体制を整えるため、在宅サービスの充実に努めます。また、在宅での生活が困難な高齢者の施設入所を支援します。

平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）

- ◆ 高齢者に対する各種在宅サービス（移送、配食など）の提供
 - ・ 在宅サービスの提供件数 78,187 件（83,328 件）
- ◆ 在宅での養護が困難な高齢者の養護老人ホームへの入所措置
 - ・ 養護老人ホーム措置人数 37 人（41 人）
- ◆ 高齢者の交通手段の確保
 - ・ オンデマンド交通移送件数 18,385 件（14,639 件）
- ◆ 高齢者の健康の保持増進及び孤独感の解消
 - ・ 独居高齢者見守り支援世帯数 473 世帯（508 世帯）

¥ 26 年度決算見込み 3 億 230 万円

平成 27 年度以降の主な計画

- ❖ オンデマンド交通高齢者移送サービス^注事業
 - ・ 70 歳以上の高齢者を対象とした実証実験を市内全域で実施
- ❖ 在宅サービス事業
 - ・ 緊急通報装置の設置、配食サービス、日常生活用具の給付等の各種高齢者向け在宅サービスの実施

¥ 27 年度当初予算 3 億 3,789 万円

注）「オンデマンド交通高齢者移送サービス」とは高齢者の通院や買い物の他、気軽に外出できる機会を増やすための交通手段として、乗降時間や乗降場所の要望に対応することのできる乗合型タクシーによる高齢者移送サービスのこと。

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
（ 1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい（満足） 4 やや不足 5 不足 ）
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
（ 1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい（適正） 4 やや不足 5 不足 ）

3-2-1 子育て環境をつくる（保健福祉に関わる施策）

子育てしやすい環境をつくるため、子育て相談や親子同士の交流の場の提供や医療費の助成、病児病後児保育など、子育て家庭のニーズにきめ細かく対応した支援事業を実施するとともに、保育園や児童ホームの適正な整備・運営を図るなど保育需要に応じた施策を推進します。

平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）

- ◆親子の交流の場として「なかよしひろば」を開設
 - ・「なかよしひろば」の利用者数 77,452 人 (62,549 人)
- ◆中学 3 年生までの児童・乳幼児に対する医療費の助成
 - ・子ども医療費の助成 279,174 件 (272,683 件)
- ◆保育園・児童ホームの適正な整備・運営
 - ・保育園の在籍児童数 2,320 人 (2,283 人)
 - ・児童ホームの入所児童数 1,507 人 (1,499 人)

など

¥ 26 年度決算見込み 59 億 5,025 万円

平成 27 年度以降の主な計画

- ❖子ども医療費助成事業
 - ・乳幼児から中学生までへの医療費助成の実施
- ❖児童ホーム整備事業
 - ・各小学校への児童ホームの整備など
- ❖特定不妊・不育治療助成事業
 - ・不妊、不育にかかる治療費の一部助成
- ❖地域型保育給付事業
 - ・小規模保育などの実施事業者に対する運営費の一部助成

など

¥ 27 年度当初予算 62 億 4,841 万円

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい (満足) 4 やや不足 5 不足)
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい (適正) 4 やや不足 5 不足)



3-3-1 多様なニーズに応える地域福祉体制の充実を図る（保健福祉に関わる施策）

多様なニーズに応える地域福祉体制の充実を図るため、民生委員や社会福祉協議会などによる地域福祉活動の支援や各種相談機能の充実、さらに福祉団体の支援に努めます。

平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）

- ◆成田市社会福祉協議会の事業及び運営に対する補助
 - ・社会福祉協議会の登録ボランティア 96 グループ 1,716 人 (96 グループ 1,815 人)
- ◆障がい者に対する在宅サービス(居宅介護、デイサービス、配食など)の提供
 - ・障がい者の在宅サービス利用 1,176 人 (1,141 人)
- ◆障がい者や保護者等に対する相談・支援
 - ・障がい者相談センター相談受付件数 3,089 件 (2,771 件)
- ◆民生委員等への支援
 - ・民生委員児童委員年間活動日数 延べ 24,862 日 (延べ 24,008 日)

など

¥ 26 年度決算見込み 2 億 5,083 万円

平成 27 年度以降の主な計画

- ❖奉仕活動支援事業
 - ・民生委員児童委員や日赤奉仕団等の活動支援
- ❖福祉団体補助事業
 - ・障がい者団体の活動支援

など

¥ 27 年度当初予算 2 億 4,187 万円

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい (満足) 4 やや不足 5 不足)
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい (適正) 4 やや不足 5 不足)



3-3-3 低所得者福祉を推進する（保健福祉に関わる施策）

低所得者福祉を推進するため、日常生活を営むことが困難な生活困窮者に対して必要な生活支援や扶助を行うとともに、生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者の自立支援を図ります。

平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）	平成 27 年度以降の主な計画
<p>◆ 困窮の状況に応じた扶助費の給付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活保護の状況 保護率 10.86%^注 保護人員 1,359 人 (保護率 11.58%^注 保護人員 1,482 人) <p>◆ 低所得者の生活相談と助言・指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活相談の受付 864 件 (701 件) <p style="text-align: right;">など</p> <p>¥ 26 年度決算見込み 25 億 5,712 万円</p>	<p>❖ 生活保護扶助費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者に対しての生活扶助、医療扶助など必要な扶助の実施 <p>❖ 生活困窮者自立支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者の自立を促進するための各種支援事業の実施 <p style="text-align: right;">など</p> <p>¥ 27 年度当初予算 25 億 7,489 万円</p>

注) 「‰(パーミル)」とは、1000 分率を表す単位。1‰(パーミル)は 1000 分の 1。

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。 
- (1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい(満足) 4 やや不足 5 不足)
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
- (1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい(適正) 4 やや不足 5 不足)

3-4-2 医療サービスや救急医療体制を充実させる（保健福祉に関わる施策）

医療サービスや救急医療体制を充実させるため、地域において適切な医療サービスが受けられる地域医療体制の構築に努めるとともに、24時間体制での健康・子育て相談に対するアドバイスや休日・夜間の急病患者に対応する成田市急病診療所の運営を行います。

平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）

- ◆ 休日・夜間などの急病患者に対応する急病診療所の運営
 - ・急病診療所の受診者数 11,594 人（10,862 人）
- ◆ AED（自動体外式除細動器）を公共施設に設置
 - ・市有施設の AED の設置状況 113 施設 貸出用 3 個（121 施設 貸出用 3 個）
- ◆ 国民健康保険制度の運営
 - ・国民健康保険の加入状況 19,964 世帯 34,654 人（20,061 世帯 35,346 人）
- ◆ 24 時間、年中無休、無料の医療相談体制の運営
 - ・医療相談ほっとライン相談件数 9,683 件（9,118 件）
- ◆ 後期高齢者の人間ドック受検費用の助成
 - ・後期高齢者人間ドック受検費用助成人数 140 人（103 人）
- ◆ 看護師等就学貸付金利用者数
 - ・看護師等就学資金貸付申請者数 63 人（131 人） など

¥ 26 年度決算見込み 30 億 6,231 万円

平成 27 年度以降の主な計画

- ❖ 地域医療対策事業
 - ・初期救急医療体制^注を維持するための負担金の交付、看護師不足に対応するため無利子での修学資金貸付の実施
- ❖ 医療相談ほっとライン事業
 - ・24 時間、年中無休、無料で電話による健康、医療、子育てなどの相談事業の実施 など

¥ 27 年度当初予算 34 億 8,495 万円

注）「初期救急医療体制」とは、休日や夜間などの救急患者を診療するとともに、手術や入院治療が必要な重症患者を二次救急医療機関に転送する役割を担う初期医療体制のこと。

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
- （ 1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい（満足） 4 やや不足 5 不足 ）
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
- （ 1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい（適正） 4 やや不足 5 不足 ）

4-1-2 成田の歴史文化を通して成田の個性や伝統を学ぶ（教育文化に関わる施策）

市域に関する歴史資料の収集・保存を図り、後世に継承していくための市史の編さんを行うとともに、門前町の歩みや移り変わりの歴史についての調査研究を実施します。また、文化財や地域文化を保存継承していくため、文化財の修復や展示などを行い、文化財保護の意識啓発を推進します。

平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）

- ◆ 史跡めぐり、博物館めぐり、歴史講演会の開催
 - ・参加者数 360 人（448 人）
- ◆ 三里塚御料牧場記念館、下総歴史民俗資料館の運営
 - ・入館者数 5,758 人（4,811 人）
- ◆ 文化財に関する説明板や誘導標識の設置
 - ・指定文化財（国・県・市）の数 104 件（103 件）
 - ・説明板の設置 2 件（2 件） など

¥ 26 年度決算見込み 3,280 万円

平成 27 年度以降の主な計画

- ❖ 成田山門前町研究事業
 - ・門前町の歩みや移り変わりの歴史についての調査研究
- ❖ 文化財保護啓発事業
 - ・「成田市の文化財」の発行や文化財の啓発用資料の作成、市内に所在する文化財への説明板などの設置 など

¥ 27 年度当初予算 4,234 万円

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
- （ 1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい（満足） 4 やや不足 5 不足 ）
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
- （ 1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい（適正） 4 やや不足 5 不足 ）

4-2-2 成田の未来をつくる義務教育を推進する（教育文化に関わる施策）

成田の未来をつくる義務教育を推進するため、児童生徒の増加に対応した校舎の増築や老朽化した学校施設の大規模改修を行うとともに、親子方式^注による学校給食を開始するなど、良好な教育環境を提供します。また、少人数学習推進教員の配置など、きめ細やかな教育を推進します。

<p>平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆学校給食施設整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・親子方式^注による学校給食共同調理場の整備 公津の杜小学校学校給食共同調理場建設工事実施 (本城小学校学校給食共同調理場建設工事実施) ◆1学級の児童生徒数が多い学校に少人数学習推進教員を配置 <ul style="list-style-type: none"> ・少人数学習推進教員の配置 24校 41人 (23校 38人) ◆児童生徒数が多い学校に健康推進教員を配置 <ul style="list-style-type: none"> ・健康推進教員の配置 12校 12人 (〃) など <p style="text-align: right;">¥ 26 年度決算見込み 43 億 3,197 万円</p>	<p>平成 27 年度以降の主な計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ❖大栄地区小中一体型校舎建設事業 <ul style="list-style-type: none"> ・大栄地区の小学校 5 校の統合に伴う小中一体型校舎の建設 ❖学校給食施設整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・親子方式^注による学校給食施設の整備 (公津の杜小、美郷台小) など <p style="text-align: right;">¥ 27 年度当初予算 64 億 7,215 万円</p>
--	--

注)「親子方式」とは敷地に余裕のある学校に給食施設を設置し、設置された学校を拠点として、周辺のいくつかの学校に給食を供給する方式。

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい (満足) 4 やや不足 5 不足)
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい (適正) 4 やや不足 5 不足)

4-3-1 市民が学び成果を活かすまちづくりを推進する（教育文化に関わる施策）

公民館・図書館サービスの充実を図り、市民の生涯学習の中心的施設として機能するよう努めます。そのほか、市民が学び成果を活かすまちづくりを推進するため、公民館や図書館などの生涯学習及び総合的な子育て支援のための施設の整備を検討します。

<p>平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆明治大学・成田社会人大学の開設 <ul style="list-style-type: none"> ・明治大学・成田社会人大学の受講者数 245 人 (237 人) ◆市民文化祭の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・市民文化祭の参加者 124 団体 8,696 人 (96 団体 約 11,000 人) ◆公民館講座教室等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・64 講座 6,564 人 (70 講座 7,575 人) ◆図書等の貸出し及びインターネット予約システムの導入 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料の貸出数 131 万 9,824 点 (132 万 586 点) ・図書館資料の蔵書数 100 万 167 点 (99 万 1,721 点) ・インターネット予約 70,686 件 (55,638 件) など <p style="text-align: right;">¥ 26 年度決算見込み 11 億 9,559 万円</p>	<p>平成 27 年度以降の主な計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ❖公民館講座教室等開催事業 <ul style="list-style-type: none"> ・各公民館における地域の特色を生かした各種講座・教室、体験学習の開催 ❖文化芸術センター管理運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ・JR成田駅前の再開発ビル「スカイタウン成田」内のホール、ギャラリーの運営 ❖赤坂センター地区複合施設整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・赤坂センタービル跡地の隣接地約 1ha について土地開発公社による先行取得 など <p style="text-align: right;">¥ 27 年度当初予算 8 億 7,172 万円</p>
---	---

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい (満足) 4 やや不足 5 不足)
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい (適正) 4 やや不足 5 不足)

5-1-1 災害などに強いまちをつくる（生活環境に関わる施策）

東日本大震災の経験を踏まえた防災用備蓄品の一層の充実や、災害に強いまちをつくるための準用河川の整備などを進めていくとともに、自主防災組織の育成などによる地域の防災力の向上や既存建築物の耐震化の促進に努めます。

平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）

- ◆自主防災組織の育成・支援
 - ・自主防災組織の数 98 組織（91 団体）
 - ◆危険区域の急傾斜地崩壊対策工事の実施
 - ・これまでに実施した急傾斜地崩壊対策工事 56 箇所（〃）
 - ◆消防水利の新設等
 - ・防火水槽基数 1,805 基（1,804 基）
 - ◆準用河川の改修工事の実施
 - ・準用河川整備済延長 3,037m（2,997m）
 - ◆既存建築物の耐震化促進
 - ・市有特定建築物耐震化率 97.54%（98.34%）
- など

¥ 26 年度決算見込み 9 億 9,023 万円

平成 27 年度以降の主な計画

- ❖準用河川整備事業
 - ・準用河川（天昌寺川）の改修工事の実施
 - ❖給水体制整備事業
 - ・避難場所となる小中学校の受水槽への給水栓の設置
- など

¥ 27 年度当初予算 10 億 6,629 万円

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
（ 1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい（満足） 4 やや不足 5 不足 ）
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
（ 1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい（適正） 4 やや不足 5 不足 ）

5-1-3 交通安全、消費生活における安全対策を推進する（生活環境に関わる施策）

交通安全、消費生活における安全対策を推進するため、交通安全施設の設置を進めるとともに、交通安全に対する意識の向上を目的とした安全教室の開催や啓発活動などに努めます。また、消費者被害から市民を守る消費生活センターの運営を行います。

平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）

- ◆交通安全運動や交通安全教室の開催
 - ・交通安全教室の開催 71 回（69 回）
 - ◆食品衛生に関する講習会や店舗検査を実施する団体への補助
 - ・食品衛生組合の加入事業所 751 事業所（807 事業所）
 - ◆消費生活センターにおける相談・解決のための斡旋の実施
 - ・相談受付 916 件（864 件）
- など

¥ 26 年度決算見込み 7,429 万円

平成 27 年度以降の主な計画

- ❖交通安全施設等設置事業
 - ・道路反射鏡、ガードレール、道路標識などの必要な交通安全施設の設置、管理
 - ❖消費生活センター運営事業
 - ・消費生活相談員による各種苦情、問い合わせなどの相談、解決のための斡旋
- など

¥ 27 年度当初予算 7,601 万円

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
（ 1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい（満足） 4 やや不足 5 不足 ）
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
（ 1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい（適正） 4 やや不足 5 不足 ）

5-2-2 空港周辺地域の振興を図る（生活環境に関わる施策）

空港周辺地域の振興を図るため、空港周辺の自然環境の保全、活用や計画的な土地利用を図るとともに、騒音地域の振興と生活環境の整備に向けた取組みを推進します。

平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）

- ◆ 地域住民が学習や集会などに利用できる共同利用施設、防音集会所の維持管理
 - ・ 共同利用施設、防音集会所の数 79 施設（80 施設）
- ◆ 荒海共生プラザの維持管理
 - ・ 共生プラザ延べ来館者数 6,848 人（6,525 人）
など

¥ 26 年度決算見込み 1 億 2,869 万円

平成 27 年度以降の主な計画

- ❖ 成田空港周辺環境整備推進事業
 - ・ 空港周辺の自然環境の保全・活用、騒音地域の地域振興と生活環境の整備
- ❖ 共同利用施設等維持管理事業
 - ・ 騒音地域における住民の学習や集会等の場となる共同利用施設、防音集会所の適切な維持管理

¥ 27 年度当初予算 1 億 9,529 万円 など

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
（ 1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい（満足） 4 やや不足 5 不足 ） 
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
（ 1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい（適正） 4 やや不足 5 不足 ）

5-3-2 安心して効率的な供給処理体制を整える（生活環境に関わる施策）

長期的な安定給水に向けての水源確保と増大する水需要への対応のために印旛郡市広域市町村圏事務組合へ出資及び負担金を支出するとともに、浄化センターの適切な運転管理などを行い環境衛生の向上を図ります。

平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）

- ◆ 市営水道の整備
 - ・ 上水道：配水管布設工事、管路耐震化工事の実施等（〃）
 - ・ 簡易水道：配水施設等の適切な維持管理の実施等（〃）
- ◆ 墓地の整備
 - ・ いずみ聖地公園墓地基数 4,347 基（〃）
など

¥ 26 年度決算見込み 17 億 3,242 万円

平成 27 年度以降の主な計画

- ❖ 印旛郡市広域市町村圏事務組合水道事業
 - ・ 長期的な安定給水に向けての水源確保と増大する水需要への対応のための組合への出資及び負担金の支出
- ❖ 浄化センター管理運営事業
 - ・ し尿及び浄化槽汚泥の適正な処理

¥ 27 年度当初予算 20 億 2,095 万円 など

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
（ 1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい（満足） 4 やや不足 5 不足 ） 
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
（ 1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい（適正） 4 やや不足 5 不足 ）

5-3-4 資源循環型社会構築に向けて取組む（生活環境に関わる施策）

資源循環型社会構築に向けて取組むため、新清掃工場（成田富里いずみ清掃工場）から出る余熱等を利用した施設の整備を推進するとともに、多様なごみの減量化、ごみ分別区分の見直しによる再資源化及び再利用などを実施します。

平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）

- ◆リサイクル実施団体への奨励金の交付
 - ・リサイクル団体が回収した資源物 2,076.608t (2,240.431t)
- ◆不法投棄監視員や環境保全指導員などによる監視活動
 - ・監視活動で発見された不法投棄 957 件 (776 件)
- ◆ごみ再資源化を実施
 - ・ごみ再資源化率 9.2% (14.5%)

など

¥ 26 年度決算見込み 23 億 1,812 万円

平成 27 年度以降の主な計画

- ❖新清掃工場関連付帯施設整備事業
 - ・新清掃工場関連の余熱利用施設と屋外多目的広場の整備の推進
- ❖リサイクルプラザ維持管理運営事業
 - ・一般廃棄物の適正な処理・再資源化、家庭で不要になった自転車・木製家具等の修理、販売によるリユース（再利用）の推進

など

¥ 27 年度当初予算 25 億 3,198 万円

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい (満足) 4 やや不足 5 不足)
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい (適正) 4 やや不足 5 不足)



6-1-1 人権が尊重され男女がともに参画する社会をつくる（施策の推進に向けた総合的な取り組み）

人権が尊重され男女がともに参画する社会をつくるため、市民一人ひとりが男女共同参画についての認識をより深められるよう、男女共同参画センターの運営を行うとともに、市民がお互いに支えあう明るい地域社会づくりを推進します。

平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）

- ◆男女共同参画講座の開催
 - ・男女共同参画講座の参加者数 360 人 (385 人)
- ◆各種審議会等への女性委員の登用
 - ・市の審議会等の女性委員の登用 241 人 登用率 32.48% (228 人 登用率 30.7%)
- ◆女性のための相談を実施
 - ・女性のための相談受付 120 件 (124 件)

など

¥ 26 年度決算見込み 1,292 万円

平成 27 年度以降の主な計画

- ❖男女共同参画センター運営事業
 - ・市民の自主的活動や相談所の拠点として活用できるセンターの運営
- ❖市民憲章推進事業
 - ・市民憲章精神の推進に功績のあった者や団体に対する感謝状の贈呈、普及・定着を図るための啓発物の配布

など

¥ 27 年度当初予算 1,173 万円

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい (満足) 4 やや不足 5 不足)
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
(1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい (適正) 4 やや不足 5 不足)



6-1-3 市民との協働の仕組みをつくる（施策の推進に向けた総合的な取り組み）

市民との協働の仕組みをつくるため、市政への市民参加を促進するための手法を検討するとともにその活用を図り、市民参加の機会拡大に努めます。

平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）

- ◆行政資料室による行政情報の提供
 - ・行政資料室の利用者数 10,223 人（11,139 人）
- ◆審議会委員の公募制の推進
 - ・審議会における公募委員の割合 84 人 11.32%（76 人 10.2%）
- ◆市政の発展伸張に寄与した個人・団体の表彰
 - ・市表彰 50 人（39 人）
 - ・教育委員会表彰 24 人（17 人）
- ◆市政モニター事業
 - ・市政モニター登録者数 新規登録 85 人、会員数 318 人（244 人）

¥ 26 年度決算見込み 653 万円

平成 27 年度以降の主な計画

- ❖市民協働推進事業
 - ・協働に関する研修会の実施
- ❖市政モニター事業
 - ・登録制によるモニターを対象としたインターネット経由のアンケート調査の実施

など

¥ 27 年度当初予算 1,516 万円

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
- (1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい（満足） 4 やや不足 5 不足)
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
- (1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい（適正） 4 やや不足 5 不足)

6-2-2 効率的・効果的な行政運営に努める（施策の推進に向けた総合的な取り組み）

効率的・効果的な行政運営のため窓口事務の改善を図り、市民サービスの拡充に努めます。また、公共施設の効率的・計画的な維持管理・更新を図るなど、長期的な視点に立った行財政運営を行います。

平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）

- ◆証明書発行の利便性向上
 - ・自動交付機による証明書類の発行件数 14,063 件（15,848 件）
 - ・住民基本台帳カードを利用したコンビニでの証明書類の交付システムの導入 発行件数 5,381 件（2,862 件）
- ◆公共施設の効率的な設置・運営
 - ・指定管理者制度^注を導入している公共施設 185 施設（184 施設）
 - ・公共施設の管理と効率的な運用 公共施設保全情報システムの導入（公共施設保全計画の作成）

¥ 26 年度決算見込み 43 億 4,051 万円

平成 27 年度以降の主な計画

- ❖証明書コンビニ交付事業
 - ・住民基本台帳カードを利用したコンビニでの住民票等の交付
- ❖徴収事業
 - ・従前のコンビニ収納やマルチペイメント収納に加え、新たにクレジットカードによる収納の実施

など

¥ 27 年度当初予算 31 億 1,700 万円

注)「指定管理者制度」とは、地方公共団体の指定を受けた団体(指定管理者)が公の施設の管理を行う制度。これにより、公の施設の管理を民間事業者も行えるようになった。

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
- (1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい（満足） 4 やや不足 5 不足)
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
- (1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい（適正） 4 やや不足 5 不足)

6-2-4 広域的行政の効果的推進に努める（施策の推進に向けた総合的な取り組み）

広域的行政の効果的推進に努めるため、一部事務組合と連携した事務の共同処理を進めます。

平成 26 年度の活動内容・実績（25 年度実績）

- ◆ 印旛郡市広域市町村圏事務組合^{注)}で職員採用試験の共同実施
 - ・本市職員採用試験の応募者数 1,286 人（1,051 人）
- ◆ 職員研修の共同実施
 - ・共同研修への本市からの参加者数 121 人（117 人）
- ◆ 共同処理する事務の効率的運営
 - ・経費老人ホーム「よしきり」の運営事業及び施設の民間事業者への譲渡 など

¥ 26 年度決算見込み 1,930 万円

平成 27 年度以降の主な計画

- ❖ 印旛郡市広域市町村圏事務組合一般事業
 - ・職員共同採用試験や二次救急^{注)}事業などの事務の共同処理の実施 など

¥ 27 年度当初予算 2,219 万円

注)「印旛郡市広域市町村圏事務組合」は、市町村事務の一部を共同処理することを目的に、昭和 47 年 9 月に本市を含む 2 市 6 町 3 村で設立。

注)「二次救急」とは、救急車等により直接または初期医療機関からスクリーニング（ふるい分け）され、転送されてくる重症救急患者に対応するための診療体制のこと。

- ◆ 平成 26 年度実績についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。 
- (1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい（満足） 4 やや不足 5 不足)
- ❖ 平成 27 年度以降の計画についてどう考えますか。あてはまるものに○をつけてください。
- (1 過大 2 やや過大 3 ちょうどよい（適正） 4 やや不足 5 不足)

最後に、今後の市政運営について、その他にご意見・ご要望などがありましたら、どんなことでも構いませんので、以下に自由にご記入ください。

以上で質問は終わりです。ご協力、誠にありがとうございました。

